

第1回エコフィード認証等取得支援者養成講習会講義日程表(神奈川会場)

講習会日時	平成29年9月25日(月)13:00~19:00 平成29年9月26日(火)9:00~17:00
講習会会場及び 現地実習先	①けやき会館 3階 セミナールーム1 (神奈川県相模原市中央区富士見6-6-23) ②株式会社日本フードエコロジーセンター (神奈川県相模原市中央区田名塩田1-17-13) ③夢末市 (JAファーマーズマーケット) (神奈川県厚木市温水255)

時間	タイトル	内容	講師(敬称略)	
9月25日	12:00	受付	けやき会館3階セミナールーム1	
	13:00	開講式・オリエンテーション		
	13:10	エコフィードをめぐる情勢	①エコフィードの意義 ②エコフィード製造・利用について ③エコフィードの生産・利用拡大支援について ④国産畜産物の輸出環境整備事業(エコフィード認証の取組支援事業)について	農林水産省生産局畜産部飼料課担当官
	13:40	エコフィードに関する法令	①食品リサイクル法の概要 ②飼料安全法の概要	功刀 豊 ((独)農林水産消費安全技術センター福岡センター 所長)
	14:10	休憩		
	14:20	エコフィード認証制度	①エコフィード認証制度の背景 ②エコフィード認証制度の概要 ③認証を受けたエコフィードの推移 ④認証を受けたエコフィードの製品数等 ⑤認証の手続き方法	橋元 康司 ((一社)日本科学飼料協会 事務局長)
	15:05	エコフィード利用畜産物認証制度	①エコフィード利用畜産物認証制度の背景 ②エコフィード利用畜産物認証制度の概要 ③エコフィード利用畜産物認証の実態 ④認証の手続き方法 ⑤エコフィード認証等取得支援事業の手続き方法	公益社団法人中央畜産会
	15:50	休憩		
	16:00	エコフィードの背景・歴史	①食肉の販売戦略と飼料 ②エコフィードの展開過程 ③エコフィードの供給・利用のタイプ ④エコフィードの経営的意義 ⑤エコフィードの理解促進	淡路 和則 (龍谷大学農学部 教授)
	16:45	休憩		
	16:55	エコフィードの取組み	①エコフィードの取組みの推移 ②食品メーカーの役割 ③飼料化技術の啓発 ④分別による飼料化	川島 知之 (宮崎大学農学部 教授)
	17:55	休憩		
	18:00	エコフィード利用畜産物の安全性	①食品安全の視点から見たエコフィード利用畜産物 ②消費者から見たエコフィード利用畜産物	眞鍋 昇 (東京大学 名誉教授)
	19:00	終了		

時間	タイトル	内容	講師(敬称略)	
9月26日	9:00	相模原駅南口集合	受付次第バスへ乗車	
	9:10	相模原駅南口出発		
	9:30	認証エコフィード取得製造事業者の実態 (株)日本フードエコロジーセンター)	①エコフィードの製造現場の見学 ②エコフィード原料としての保管における留意点 ③生産者や飼料メーカーとのつながり	高橋 巧一 (株)日本フードエコロジー センター 代表取締役)
	12:00	昼休み	エコフィードを給与して育てたブランド豚「優とん」 弁当	
	13:00	(株)日本フードエコロジーセンター出発		
		エコフィードを給与している生産者の実態 (バスの中)	①エコフィードを使用する際の留意点 ②エコフィードを給与した豚肉について(増体、肉質 等)	小原 光貴 (江戸屋養豚場)
	13:30	エコフィード利用畜産物の販売店の実態 (夢未市(JAファーマーズマーケット))	①エコフィード利用畜産物の販売状況の見学 ②エコフィードを給与した豚肉の販売(販路等) ③エコフィード利用畜産物の普及啓発に向けて	小原 光貴 (江戸屋養豚場)
	15:00	夢未市(JAファーマーズマーケット) 出発		
	16:30	相模原駅南口到着・解散	※ 道路状況により解散時間が前後する可能性あり	